

# 台風 15 号における自治会町内会の対応状況緊急アンケート結果まとめ

令和元年 12 月  
地域のつながり課

## 1 調査の目的

令和元年 9 月 8 日（日）から 9 日（月）にかけて関東地方を直撃した台風 15 号の被害を受け、自治会・町内会として、自主的に行った取り組みについてお聞きし、今後の活動支援に活かす資料とすることを目的とする。

## 2 調査対象

市内の自治会・町内会

## 3 調査方法と回収状況

調査方法：郵送によるアンケート調査

調査期間：令和元年（2019 年）9 月 24 日（火）から 10 月 18 日（金）まで

送付数：182 件

回収数：138 件（回収率 75.8%）

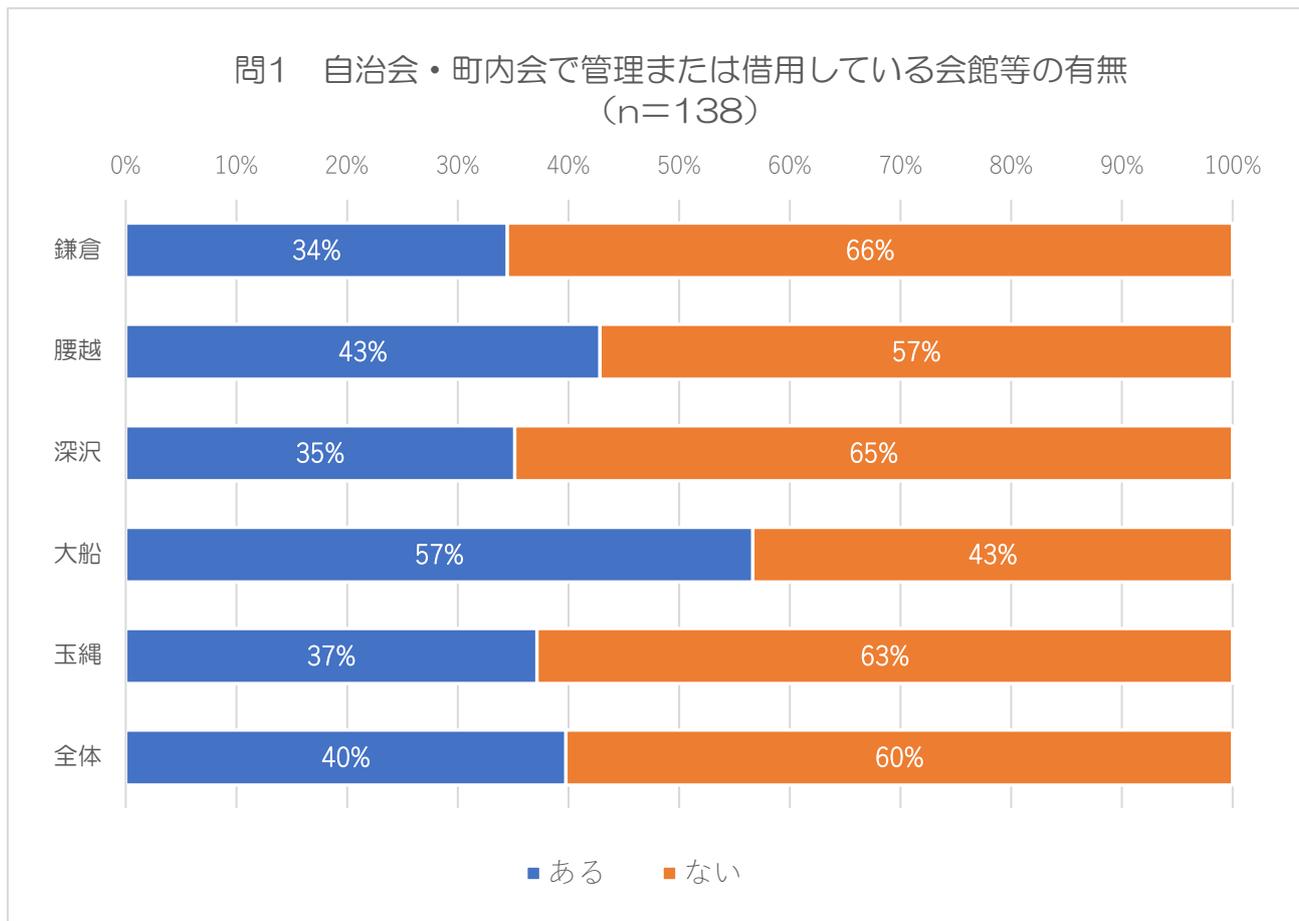
## 4 調査項目

- 1 自治会・町内会で管理または借用している自治会町内会館、公民館、公会堂の有無
- 2 今回の台風 15 号に関連して、地域住民のために施設を開放または提供したか
- 3 施設を開放または提供して、どのように活用したか（複数回答）
- 4 自治会・町内会として、今回の台風に関して何らかの対応をしましたか（複数回答）
- 5 今回の台風に関する対応などについて、自治会・町内会としての今後の課題（記述）

## 5 その他

- ・百分率（%）の計算は、少数第 2 位を四捨五入し、少数第 1 位まで表示しました。そのため、単数回答（1 つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて 100%にならない場合があります。
- ・複数回答（2 つ以上選んでよい問）においては、%の合計が 100%を超える場合があります。
- ・記述回答については、内容を一部集約して記載しています。

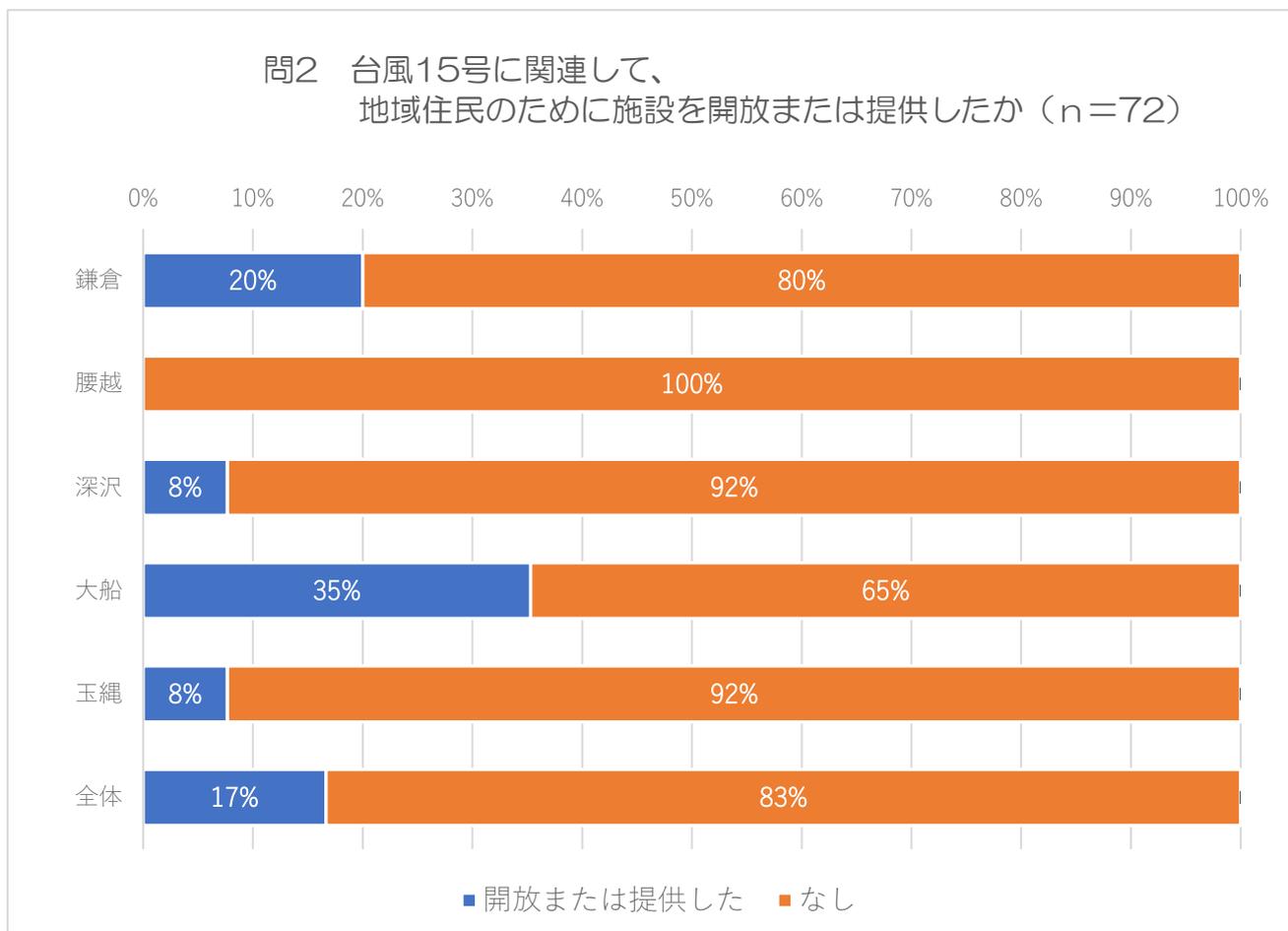
問1 貴自治会・町内会で管理または借用している会館等がありますか。



※表中の数字は自治会・町内会数を示す

	鎌倉	腰越	深沢	大船	玉縄	合計
ある	20	9	13	17	13	72
ない	23	12	11	8	12	66

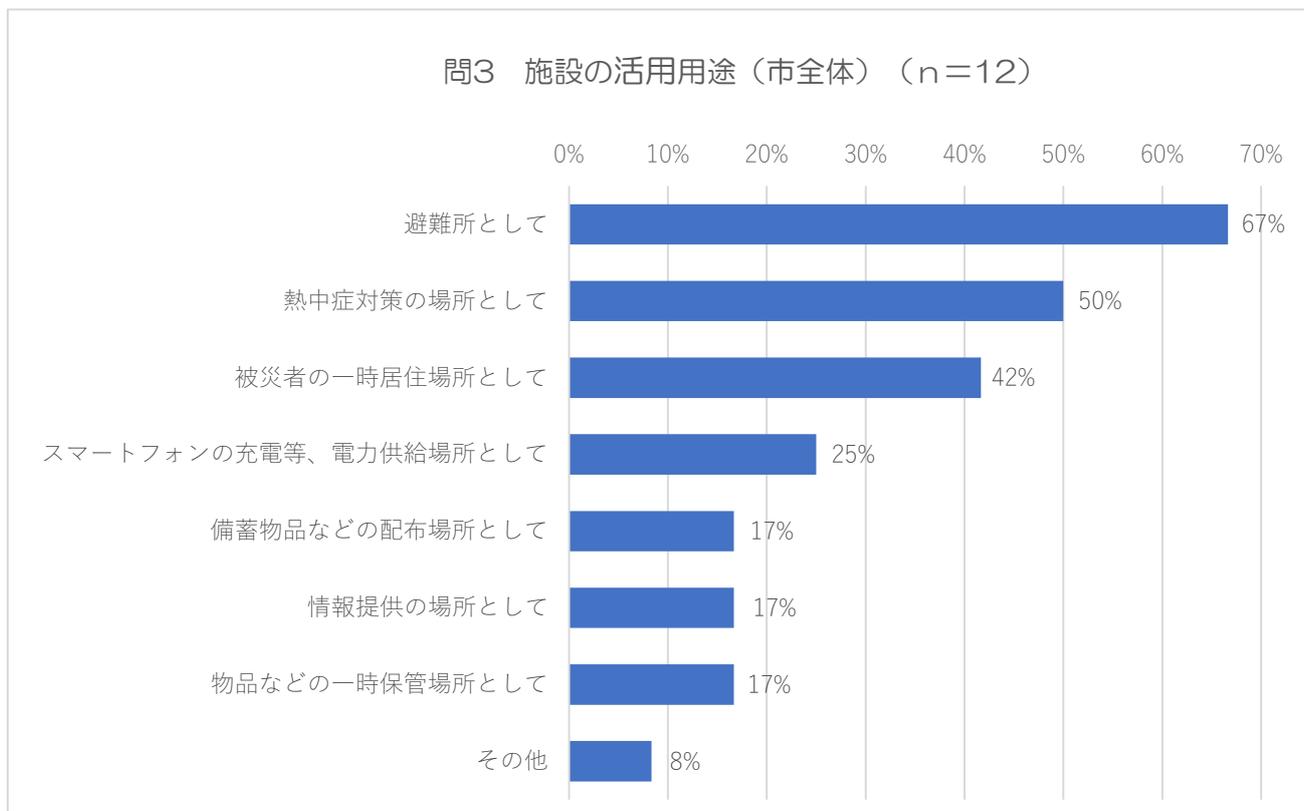
問2 問1で「ある」と回答された方に伺います。今回の台風15号に関連して、地域住民の方々のために施設を開放または提供しましたか。



※表中の数字は自治会・町内会数を示す

	鎌倉	腰越	深沢	大船	玉縄	合計
開放または提供した	4	0	1	6	1	12
していない	16	9	12	11	12	60

問3 問2で「解放または提供した」と回答された方に伺います。施設を開放または提供して、どのように活用しましたか。【複数回答】

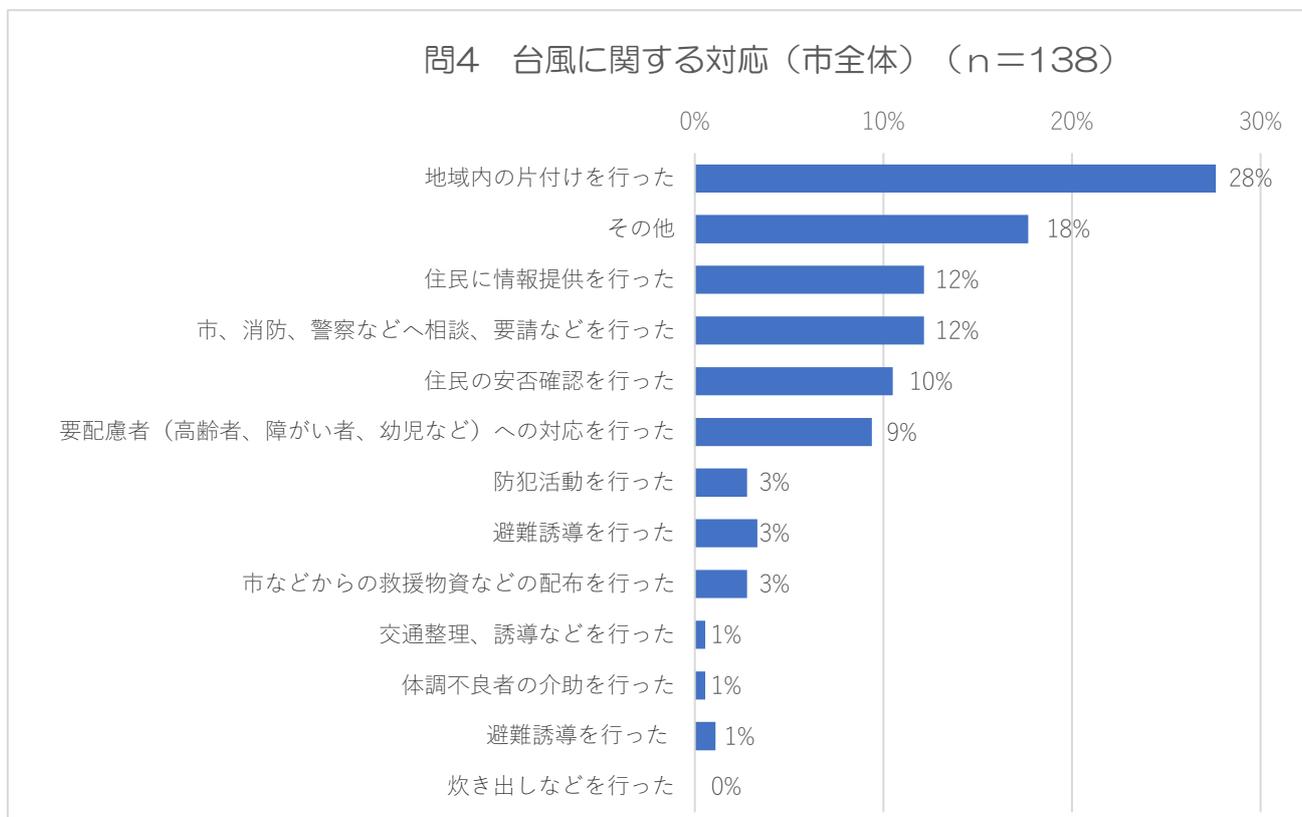


※表中の数字は自治会・町内会数を示す

	鎌倉	腰越	深沢	大船	玉縄	合計
避難場所として	3	0	1	4	0	8
被災者の一時居住場所として	1	0	1	3	0	5
熱中症対策の場所として	1	0	1	4	0	6
備蓄物品などの配布場所として	1	0	0	0	1	2
情報提供の場所として	2	0	0	0	0	2
物品などの一時保管場所として	1	0	1	0	0	2
スマートフォンの充電等、電力供給場所として	1	0	1	1	0	3
その他	1	0	0	0	0	1

問4 自治会・町内会として、今回の台風に関して何らかの対応をしましたか。

【複数回答】



※表中の数字は自治会・町内会数を示す

	鎌倉	腰越	深沢	大船	玉縄	合計
住民に情報提供を行った	7	0	5	5	5	22
備蓄物品などの配布を行った	2	0	0	1	3	6
避難誘導を行った	1	0	1	0	0	2
住民の安否確認を行った	6	1	1	6	5	19
地域内の片付けを行った	10	4	13	12	11	50
炊き出しなどを行った	0	0	0	0	0	0
交通整理、誘導などを行った	0	0	0	1	0	1
防犯活動を行った	1	0	1	3	0	5
体調不良者の介助を行った	0	0	0	0	1	1
市、消防、警察などへ相談、要請などを行った	8	1	4	8	1	22
市などからの救援物資などの配布を行った	1	0	2	0	2	5
要配慮者（高齢者、障がい者、幼児など）への対応を行った	6	1	1	7	2	17
その他	13	3	6	6	4	32

問5 今回の台風に関する対応などについて、自治会町内会として、今後の課題などがあればお聞かせください。【記述回答】

大項目	中項目	小項目(詳細)
行政	市職員対応力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害対応に対する行政の取り組みや対応力を向上してほしい</li> <li>・避難所開設にあたり、職員の対応力を向上させてほしい</li> <li>・災害発生時に被害対応してくれる業者のリストを行政でまとめてほしい</li> <li>・災害対応するには自治会役員だけではやることが多く、ボランティアの範囲を超えている</li> </ul>
	窓口コールセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時に自治会で対応できないことを要請する窓口を設置してほしい</li> <li>・コールセンターの設置は心強かった</li> <li>・電話が繋がらないことがあったため、受付本数を増やしてほしい</li> </ul>
倒木	倒木土地	<ul style="list-style-type: none"> <li>・倒木や土砂による通行止めが不便だった</li> <li>・危険な箇所があるため、早急に対応してほしい</li> <li>・倒木により地域が孤立する可能性があるため、対応を考える</li> <li>・樹木や街路樹が倒壊した</li> <li>・倒木処理の補助金を出してほしい</li> <li>・土地の所有者に対する管理、指導をしてほしい</li> <li>・倒木等の発生個所の所有者がわからない</li> <li>・がけ地対策ができていない箇所がある</li> </ul>
	ゴミ処分方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害ゴミの処理についてのフローチャートがほしい</li> <li>・切断した樹木の処分方法が知りたい</li> <li>・強風によって飛ばされた枝や葉の対応をしてほしい</li> <li>・日ごろから樹木や草木の整理をしてほしい</li> </ul>
空家	空家	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家を良い状態に保つ</li> <li>・空き家の庭木が道路まで倒れかかっているため、許可なく切断してよいか</li> <li>・自治会が管理している緊急時の連絡先が役立った</li> </ul>
	個人宅防犯灯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人宅への被害対処方法はどの課に連絡をすればよいか</li> <li>・個人宅への被害の対応はどこまでやるべきか</li> <li>・防犯灯への被害の修復金が出るのか</li> <li>・防犯灯の管理を気を付けたい</li> </ul>
情報	伝達	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民への情報伝達の手段について</li> <li>・自治会単位や市と住民においての情報伝達は可能か</li> <li>・被災の規模や会館開放などの情報をタイムリーに知る方法があれば役に立つ</li> <li>・会長や防災担当へのメールがあれば情報伝達が上手くいくのではないか</li> </ul>
	被害状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員からあがってくる被害状況をどこまで市に報告するべきか</li> <li>・通信だけで被害状況を確認するのは難しい</li> <li>・被害状況の確認や情報収集をし、市へ報告する</li> </ul>
	防災無線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・強風や豪雨では防災無線が聞こえないため、周知の工夫が必要である</li> <li>・防災無線で適確な情報を伝えてほしい</li> </ul>
	組織間の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団と自治会の連携が必要である</li> <li>・倒木等の情報を市役所と連携して対応したい</li> <li>・自主防災組織の役員交代による引継ぎが上手くできていない</li> <li>・今後、人的支援を必要とする災害が起こった際にどう対応するか日ごろから考える</li> </ul>

停電 断水	停電	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広域停電時の対応について検討する</li> <li>・ エレベーターが止まったため、高層階に住む高齢者が苦勞していた</li> <li>・ 停電の情報が入ってこなかった（原因、復旧、範囲等）</li> <li>・ 倒木による電線切断の可能性のある個所を事前に連絡し、行政に対応してもらう</li> </ul>
	断水	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 停電や断水が長期化したときの対応を考えたい</li> </ul>
防災体制 マニュアル	計画・マニュアルの見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マンション内の防災体制の見直しをする</li> <li>・ 避難訓練の根本的な練り直しをする</li> <li>・ 町内会としての対処、対策、行動を考える</li> <li>・ 大地震だけでなく、台風を想定した計画と訓練を行う</li> </ul>
	要支援者対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 独居老人の安全確保について（避難してくれない）</li> <li>・ 高齢者の安全確保について</li> <li>・ 役員に高齢者が多いため、できることも限られてくる</li> <li>・ 高齢者では撤去できないベランダの植木鉢を強制的に撤去した（強風で飛ばされると危険なため）</li> <li>・ 商店街の買い物客や通行人への対応について</li> </ul>
避難所	避難所までの移動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難所までの道のりについて（遠い、安全性）</li> <li>・ 避難所までに川を渡るため、危険である</li> </ul>
	避難所の安全性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難所に指定されている小学校が浸水危険区域やかかけ崩れ危険区域に隣接しているため危険である</li> <li>・ 避難場所としての具体策を考える</li> <li>・ 水害時に集会所が孤立する可能性がある</li> </ul>
	自治会館の開放	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ケーブルテレビの設置を行いたい</li> <li>・ 自治会館を避難所として開放するか検討する</li> <li>・ 町内会館を持つことの重要性を感じた</li> </ul>
	避難所情報基礎知識	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難場所に収容しきれぬのか</li> <li>・ 避難場所に備えてあるもの、最低限持っていく必要があるものを知りたい</li> <li>・ 災害時における、避難所運営マニュアルが必要であると感じた</li> <li>・ 小学校が避難所であるため、会館を避難所として開設することは考えていない</li> </ul>
備蓄 資機材		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災用具ロッカーの定期点検を行う</li> <li>・ 発電機、土のう、倒木除去のための重機やチェーンソーの準備が必要だと感じた</li> <li>・ 各家庭で水や食料の準備をしてもらう</li> <li>・ 自治会に備蓄倉庫を置く空き地もなく、防災は個人の判断に任せる状態になっている</li> <li>・ 備蓄を充実させる</li> </ul>